



# 小田原男声合唱团 第48回定期演奏会

— 第66回小田原市民文化祭参加 —



2019年11月30日 (土)  
午後1時15分開場 2時開演  
小田原市民会館 大ホール

後援

日本男声合唱協会 (JAMCA)  
神奈川男声合唱協会 (KAMCA)  
湘南合唱連盟  
小田原地区合唱連盟



## ＜ご挨拶＞

### 小田原男声合唱団

団長

斎藤 恵司(さいとう けいじ)



本日はお忙しい中を第48回定期演奏会にお越しいただき本当に有難うございます。

私たち小田原男声合唱団は、2年後に創立50周年を迎えようとしています。今年の演奏会のプログラムでは、これまでの小田原の思いつく曲目の中から選ぶさせていただきます。

1つは「岬の墓」です。小田原の創設から15年間、指揮者としてご指導いただいた福永陽一郎先生の編曲によるものです。この曲は第6回定期演奏会(1977年)で演奏したものです。小田男にとって福永先生はとても大きな存在でした。その福永先生への感謝の思いも込められた42年ぶりの再演です。

そしてもう1つは「枯木と太陽の歌」です。この曲は定期演奏会でこれまで4回取り上げられ、今回は5回目となります。ちなみにその年度は第3回(1974)、第13回(1984)、第19回(1990)、第25回(1996)となっています。そして第25回定期演奏会では作曲者の石井歡先生自らの指揮で演奏しました。また定期演奏会以外でもJAMCA(全日本男声合唱協会)演奏会においても合同演奏で2回歌っています。今年の9月29日には、石井歡先生の「没後10

周年記念コンサート」が小田原市民会館で開催され、小田原がこの曲を全曲演奏させていただきました。スケールが大きくエネルギーを使う曲ですが魅力的です。今回は1ステージメンバーも加えパワフルに演奏できれば幸いです。

来年の第49回定期演奏会でも、小田原の思いつく曲を演奏したいと思っています。そしてその次は第50回という節目を迎えます。2021年9月に念願の新ホールが開館できる目途がついたようです。記念すべき第50回定期演奏会がこの新ホールで開催できることを今から楽しみにしています。(もちろん団員が元気に歌い続けられることが大きな課題かもしれませんが...)

最後になりましたが、今年もこのように定期演奏会を開催できることは、私たちを支え、応援していただく多くの方々のお陰と感謝しています。心からお礼を申し上げます。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の演奏を存分にお楽しみいただければ幸いです。

# ＜プログラム＞

## I 男声合唱曲 「岬の墓」

堀田 善衛 作詩  
團 伊玖磨 作曲  
福永 陽一郎 編曲

指揮  
ピアノ

村田 雅之  
中根 希子

## II 男声合唱で歌う なつかCM より

北川 昇 編曲

指揮 辻 秀幸

かっぱえびせん 明治チョコレート・テーマ いいもんだな故郷は カステラー一番  
めざめ ライオネスコーヒーキャンディー 勇気のしるし この木なんの木  
光る東芝 明るいなショナル ハトヤの唄 ミツワ石鹸 レナウンワンサカ娘  
お正月を写そう 青雲のうた

————— 休 憩 —————

## III 小田男愛唱歌集より

Ständchen(小夜曲) O.Wolff  
Heidenröslein(野ばら) J.Goethe  
Abschied(別れ) ドイツ・シュヴァーベン民謡 F.Silcher  
Heidenröslein(野ばら) J.Goethe  
～会場の皆さんとご一緒に～  
Heidenröslein(野ばら) J.Goethe

作詩  
作詩  
作詩  
作詩

A.Marschner  
H.Werner  
H.Sitt  
岡本 敏明 編曲  
F.Schubert

作曲  
作曲  
編曲  
作詞  
作曲

指揮

村田 雅之

## IV 男声合唱曲 「枯木と太陽の歌」

中田 浩一郎 作詩  
石井 勲 作曲

指揮  
ピアノ

辻 秀幸  
中根 希子

枯木は独りで唱う  
花と太陽の会話  
冬の夜の木枯しの合唱  
枯木は太陽に祈る

## I 男声合唱曲「岬の墓」

この曲の解説をするにあたって、1977年(昭和52年)に、福永陽一郎先生が小田男の第6回定期演奏会(1977年)で指揮をされるにあたって寄稿された文章を紹介します。

\*\*\*\*  
 團 伊玖磨(敬称略)の合唱曲はけっして多くはない。数こそすくなくいけれども、すでに、芸術歌曲のすぐれた書き手として、またオペラの作曲を第一義とする音楽家として、彼の合唱曲は、手馴れた書法で声楽的な面で技術上の無理がどこにもない仕上がりを示しているし、またオケストラのための交響作品をいくつも書いた作曲家のスケールの大きさと、これは日本の合唱曲の大多数が常にそなえている美点である抒情のこまやかさ、やわらかさが、ひとつの曲の中にまぐろけあわさっている。こうした意味で、つまり、声楽的なひびきの豊かさ、男性的な雄渾な構成と、ソフィケイトされた感覚の優美さに同時に出席することができるという意味で、團 伊玖磨の合唱曲は、日本の合唱音楽の中できわめてユニークな体験をわれわれに与えてくれるのである。

\*\*\*\*  
 この曲は、1963年に作曲され、木下保指揮のCBC合唱団によって初演されました。同年11月には、第18回芸術祭合唱部門で、芸術祭賞・文部大臣賞を受けています。男声合唱版については、福永陽一郎が編曲を行ない、1975年5月に早稲田大学グリーククラブが初演しました。

堀田善衛(1918~1998年)は、1952年の芥川賞など数々の文学賞を受賞している小説家・評論家です。上海において文化人の立場で日中戦争や中国の国共内戦などを体験したことから、国際的な視野を持つ文学者として知られています。

『岬の墓』の詩では、以下のような情景が印象的に描かれています。紺碧の空の下、さらさら光る入り江に休む白い船。

影一つ無い真屋の丘に立つ白い墓。

そして、白い船には「別の大洋をめざして船出せよ」と未来への羽は

## II 男声合唱で歌う なつかCM より

1960年代の高度成長期からテレビを点けると流れていた懐かしいコマージュソングを北川昇氏の男声合唱用への編曲により15曲を歌います。曲の性格上、ほとんど1分以下の短いものですが、「ああ、この歌だ」と言う歌もありましょう、「この会社って今あるの?」と思われる方もいらっしゃると思います。

今日の演奏順序はサラリーマンの人生に合わせた曲順になっています。まず「お菓子のコマージュヤル」次いで「仕事関連」。「仕事が終わったら温泉へ」「お正月はゆつくり」と過ごし、最後には「お線香で送られる」と言う順序にしております。辻先生の演出もお楽しみください。以下、演奏の順序に合せて、曲の簡単な解説を致します。

1. かつばえびせん  
 カルビー(株)「かつばえびせん」CMより  
 作詞:伊藤アキラ 作曲:筒井広志  
 1969年にテレビコマージュヤルに登場しました。「やめられない とまらない」のキャッチフレーズの作者については諸説があります。
2. 明治チヨコレート・テーマ  
 (株)明治「明治チヨコレート」CMより  
 作詞・作曲:いずみたく  
 1966年にテレビで放映されました。わずか8小節の曲ですが、独特な神秘的ともいえる雰囲気のある曲です。
3. いいもんがだな故郷は  
 (株)明治「カール」CMより  
 作詞:高杉治郎 作曲:川口真  
 1990年にテレビでリリースされた三橋美智也のレコードの同名の歌の元の曲です。
4. カステラー一番  
 (株)文明堂東京「文明堂カステラー」CMより  
 作詞:文明堂 作曲:オッフエンハック  
 1960年代前半から放映されたもので、「天国と地獄」のメロディに合わ

## 堀田 善衛 作詩 團 伊玖磨 作曲 福永陽一郎 編曲

たきを願い、白い墓に対しては、その下に見いだした暗い影に「休らいのことばを語れ」と過去の魂に請い、赤い花になにをか聞こうとすることよって、その印象的な情景が象徴化されています。

團 伊玖磨は『岬の墓』の詩を以下のように解説をしています。

これは深い詩である。白い墓の下に仄暗く存在する過去、青くひかる海一現在に漂う舟で象徴される我々自身、自己、そして、水平線の彼方に光る未来。人間の心の中にバランスを構成するこの四つの視点を骨格として、人生の姿を、永遠に解き難い人生の謎を、絶対の真理・赤い花-に問いかけるこの詩は、制約された簡素な表現と、その深い内容によって、我々を厳しい内省と思索の世界に誘わずにいない。

この詩の湛えるものは、単なる抒情でも描写でもない。そういう枝葉の発するもつと内削のもの、枝や葉に対する幹の美しさと力強さがこの詩の本質であると思う。

それゆえに、團 伊玖磨はこの詩の作曲を行なうにあたり、あらゆる表面上の装飾を排除し、骨格を重視した、簡潔な手法を執ったととも語っています。

『岬の墓』では冒頭部分をはじめとして、ハミングなどのヴォカリーズによって奏でられるモティーフが多用されています。團 伊玖磨は、自身の他の楽曲に対して「ヴォカリーズは森羅万象をあらわす。自然が奏でる音にならない音楽をヴォカリーズで奏でる」と語っていた。そうですが、この曲でもヴォカリーズが詩の背景となっている海や空、風のようなアトモスフィアとなっており、この詩の背景イメージを広げ、さらに曲の中盤、白い墓にフォーカスが当てられた部分では、単なる情景描写にとどまる事なく心象風景もがヴォカリーズによって描かれており、単なるバックコーラス的なヴォカリーズとは一線を画したものとなっている。

## 北川 昇 編曲

せて、クマの人形がライディングスをするCMで有名です。なお「電話は二番」は文明堂の当時の加入電話番号が0002番で、1937年に文明堂が電話帳の裏に「カステラー一番、電話は二番」と言うキャッチフレーズを載せたことに起因すると言われます。

5. めざめ

ネスレ日本(株)「ネスカフェ・コーヒーブレンド」CMより

作詞・作曲:八木正生

「ダバダ〜」の歌詞で知られるインスタントコーヒーの代名詞とも言うべきCMソングですが、最近では聴きません。

6. ライオネスコーヒーキャンペーン

篠崎製菓(現ライオン菓子(株))「ライオネスコーヒーキャンペーン」CMより

作詞・作曲:宮崎尚志

1970年代を中心に天地總子の歌で放映されました。2008年、新製品の発表に伴いリアレンジされています。

7. 勇気のしるし

第一三共ヘルスケア(株)「リゲイン」CMより

作詞:黒田秀樹 作曲:近藤達郎

1988年に「アリナミンV」に対抗して当時の三共が開発したリゲインのCMソングです。当初は「リゲインの歌」でしたが1989年に牛若丸三郎木と言うキャラクターを使って「勇気のしるし」としてCD化されました。「24時間戦えますか」のコピーは1989年の新語・流行語大賞の流行語部門の銅賞を受賞しました。

8. この木なんの木

日立グループCMソング「日立の樹」

作詞:伊藤アキラ 作曲:小林亜星

1975年にリリースされた寿命が長いCMです。当初使われた「この木」はハワイ・オアフ島にあるモンキーポッドでした。一時マンゴウの樹に姿えられましたが、1984年以降はモンキーポッドが使われています。

(次ページへ続く)

9. 光る東芝

(株)東芝CMより

作詞: 峠三四郎 作曲: 越部信義

1956年には発表され、東芝が提供するテレビ番組のテーマ曲として広く使われて来ました。歌詞にある「東芝のマーク」は沢山ありますね。

10. 明るいナショナル

松下電器産業(株)(現パナソニック(株))CMより

作詞・作曲: 三木鶏郎

この曲は東芝のCMソングより前に発表されたと言われます。「ナショナル劇場」のオープニングに2008年まで使われました。2008年の社名・ブランドの「パナソニック」への統一により、この歌は使命を終えました。

11. ハトヤの唄

富士商事(株)「ハトヤホテル」CMより

作詞: 野坂昭如 作曲: いずみたく

1961年に発表(その後サンハトヤの開業により一部変更)された、伊東市のホテルのCMソングです。伊東市を、またハトヤホテルを知らない方でも、このCMソングはご存知でしょう。

12. ミツワ石鹸

ミツワ石鹸 CMより

作詞・作曲: 三木鶏郎

## Ⅲ 小田男愛唱曲集より

Ständchen 小夜曲

離れ、去ってしまった彼女を思い、嘆き悲しみながら、月夜に林を彷徨い、お休みと呼びかける。Oscar L. B. Wolff(1799-1851)の詩に、Adolf E. Marschner(1819-1853)が曲を付けました。この曲の題名はGute Nacht或いはWarum bist du so ferneとしても知られています。この歌はドイツだけではなく、日本でも古くからドイツ語又は日本語訳で歌われています。雑誌「音楽界」の明治45年12月号に妹尾幸次郎訳で「さよ歌」(小夜歌)として掲載されています。

Heidenröslein 野ばら

ゲーテJohann Wolfgang von Goethe(1740-1832)が1771年に詩を作り、1772年に出版しました。Heinrich Werner(1800-1833)はこの詩に曲を付けて、1829年1月に初演しました。彼は84曲の作品を作曲しましたが、彼の最も有名な作品はこの野ばらでした。1832年秋に結核を患い、翌年に32歳の若さで亡くなりました。Wernerの野ばらを男声四重唱の合唱曲に編曲しHans Sitt(1850-1922)はチエコ・ボヘミア出身、ヴァイオリニスト、作曲家、音楽教師で、1883年にライプツィヒ音楽院バイオリン科の教授となりました

1954年から開始したテレビCMで使われた人形を使ったテレビCMで使われた曲です。「名犬ラッシー」でお馴染みでしたが、現在の会社はありません。

13. レナウンファンサカ娘(株)レナウンCMより

作詞・作曲: 小林亜星

当初の「レナウンの唄」に代わって、1961年に世に出たCMソングです。現在は社の方針でラジオ番組で使われているようです。

14. お正月を写そう

富士フイルム(株)「フジカラー」CMより

作詞: 富士フイルム宣伝部 作曲: 桜井順

1970年代から放映されているロングランCMソングです。樹木希林の出演で有名になりました。このCMを聴くと年末年始が近づいたと思う方も多でしょう。開始当初のカラーフィルム撮影がデジタルカメラになり、現在は「フジカラー」で残そう川になっていますが。

15. 青雲のうた

(株)日本香堂「青雲」CMより

作詞: 伊藤アキラ 作曲: 森田公一

1981年から放映されている日本香堂のCMソングです。CMソングには珍しい4分の3拍子で、歌詞には「お線香」を思わせるものはありません。演奏時間38秒程度の曲ですが、今日のこのステージの最後を飾るにふさわしい曲です。

た。Franz P. Schubert(1797-1828)は1815年8月に野ばらD-257(Op.3.No3)、G durを作曲しました。

Abschied 別れ

この曲は、修行に出掛ける若者が、戻ってきたら結婚しよう、恋人に呼びかける歌です。ドイツ・シュヴァーベン地方の民謡であり、「ローレライ」を作曲したFriedrich Silcher(1789-1860)が採譜し、男声四重唱の合唱曲に編曲し、1827年に出版しました。メロディの作曲者と1番の歌詞の作詞者は不明です。2番・3番の歌詞の作詞者はHeinrich Wagner(1783-1863)であり、1824年に作詞しました。彼は、その頃はシュヴァーベン地方に住んでいたと言われています。

この歌はドイツ国内から世界中に広がり、日本でも明治時代からドイツ語又は日本語で歌われました。柴田南雄(ペンネーム・夏目利江)や岡本敏明の歌詞が知られていますが、前者は父母との別れ、後者は友との別れを歌っており、訳詞ではなくて作詩と言うべき歌詞です。

## Ⅳ 男声合唱曲「枯木と太陽の歌」中田 浩一郎 作詩 石井 勲 作曲

1956年(昭和31年)、東京男声合唱団の委嘱により作曲されました。中田浩一郎(のちの芸術現代社社長・中曽根松衛)の書き下ろしの詩に作曲したものです。曲の成立について、石井は「この作品は、孤独なる人間の、人生におけるつきつめた哀歓といった、だれにでも通ずるであろう内容に基づいて一貫したイメージを持って、あらかじめ作曲し、それを私の心の友である中田君と、曲を訂正し、あるいは詩を訂正しながら作り上げて行ったもので、ある意味では、音楽と詩が同時に生れてきた、とさえ言えると思っています。」としています。石井と中田のコンビは多くの作品を生み出しています。その最初の作品です。

石井は作曲の2年前にドイツ留学から帰国していて、ドイツで師事したカール・オルフの影響を受け、オルフの特徴である、単純な音型によるオステイナー(執拗低音)、直截的な感情表現、本能的で躍動的なリズム感賞をこの曲の中にも随所に見てとることができます。「一つの想念を植えつけるような曲を作りたい。(中略)詩では一つの言葉に意味が強いから、それを繰り返すのは困ると、しかし合唱としては言葉の意味より重なり概念に、詩的総合力を出すのだということで、『枯木は一人であった、枯木は一人なのだ、枯木は一人きりなのだ』と重なり重なっていくんですね。すると想念はみんなに入ってくるんです。これが一回きりだと、なかなか入

らないですね。こうして作ったんです。」

曲中に特定の人物が登場せず、譜面上も特に記載はありませんが、作中の「枯木」は明らかに男性を象徴し、石井は「最近の私にとつての新しい経験は、男声合唱のみに存在する特殊な美しさに接したことでありました。そしてその美しさ、その力強さ、表現の幅の広さといったこれらの数々の魅力に、否応なく引きつけられて創られていったのがこの作品なのです。」とし、男声合唱であることの必然性を主張します。

さらに石井勲が中田浩一郎との第2作として共作で発表した作品として「青い葦とりんどうの話」という合唱曲がありますが(昭和36年度芸術祭奨励賞受賞)、これは混声合唱と児童合唱さらにピアノ2台を使用し、彼の師であるカール・オルフの作品である「カールミナ・ブラーナ」を連想させるよう大規模な曲ですが、その規模ともあまいって残念ながらあまり演奏される機会は多くないようです。

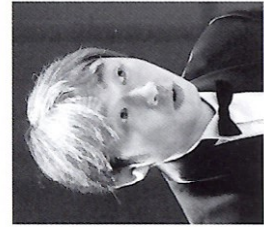
「枯木と太陽の歌」は小田原男声合唱団の第3回定期演奏会(1974年)以来今回で5回目の定演演奏となり、福永陽一郎先生の演奏の伝統を伝えていきたい曲の一つでもあります。

## 常任指揮者 辻 秀幸



東京藝術大学声楽科及び同大学院独唱科修了。1985年イタリアミラノを中心にヨーロッパへ音楽遊学。1986年イタリアのノバラ市国際声楽コンクール入賞。その後、欧州数都市でベートーヴェン「第九」のソリストを務め、各地でコンサートに出演し好評を博す。オペラでは古典から現代に至るまで、数多くの作品に出演し、その優れた演技力と歌唱力は、新聞・音楽誌上度々絶賛された。特に宗教音楽の演奏家としての活躍は目覚ましく、バッハ、ヘンデル、ハイ든等の宗教

曲・オラトリオの演奏ではソリスト・エヴァンゲリスト、指揮者として、その活動は常に注目を集めている。指導に当たっているアマチュア合唱団は15を数えている。洗足学園音楽大学講師、東京藝術大学講師、日本合唱指揮者協会副理事長、東京都合唱連盟副理事長、日本演奏家連盟会員、全日本合唱連盟季刊誌「ハーモニー」編集委員・[ヒデさんは観た！]を連載中。合唱講習会講師、合唱コンクール審査員、NHK全国学校音楽コンクール審査員、全日本合唱コンクール全国大会審査員を務める。2016年、当団の常任指揮者に就任する。



## 指揮者 村田 雅之

石川県出身。中学時代より吹奏楽で指揮者、合唱部でピアノを務める。横浜国立大学工学部を卒業。在学中はグリーククラブに籍を置き、1年次より学生ピアノリスト、3年次からは学生指揮者を務める。在学からは一般合唱団や講習会に参加、合唱全般の研修を積み栗山文昭、松下耕、伊東恵司の各氏から影響を強く受ける。音楽関連会社に勤務の傍ら、なにわコリアアーズ、合唱団お江戸コリアアーズ(全日本台

合唱コンクール全国大会、同声合唱の部、金賞・最優秀団体・文部科学大臣賞・シード合唱団)に於いては、歌い手の他、指揮、ピアノ、打楽器を担当する。横浜国立大学グリーククラブ、立正大学グリーククラブ、男声合唱団東鶴(あずまつる)、Kiyohachi Bravo'sなどの合唱団に於いて指揮、ピアノ、アンサンブルリーダーナーを務める。2014年トレーナーとして、小田男で指揮・ピアノを担当する。2016年、指揮者に就任する。



## ピアノ 中根 希子

小田原市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。第3回長江杯国際音楽コンクール第2位等多数入賞。ウィーン、シカゴ等の音楽セミナー・マスタークラス参加、ディプロマ取得、終了演奏会に出演。1999年ポーランド共和国大使館後援「日本ポランド国交樹立80周年記念及び国際シヨハン記念演奏会」に出演。2007年以降、毎年開催の“市民による小田原音楽フェスティバル”では、小林研一郎・末廣誠・広上

淳一・富澤裕・山田和樹・黒岩英臣・佐藤眞の各氏指揮のもと、第九・モーツァルトレム・ドイツレクイエム・メサイア等の演奏会でピアノアシスタントを務める。2009年ウィーンフィルメンバー・シユイト四団と共演する。2012年、小田原でのソロリサイタルを開催、生誕150年を記念しドビュッシー、リストを演奏し、大好評を博し聴衆を魅了した。2013年、豊嶋泰嗣ヴァイオリンコンサートにおいてピアノを、2014年には小田原フィルハーモニー管弦楽団と共演。2015年小田原でのソロリサイタルを開催、いづれも好評を博す。



## ヴォイストレーナー 杉山 範雄

小田原少年少女合唱隊に入隊。ルネッサンスから現代まで多くのアカペラ・アンサンブルを学ぶ。東京藝術大学音楽部声楽科を経て、これまでに、「コシ・ファン・トゥッテ」ド・アルフォンソ、「魔笛」ザラストロ、「カルメン」エスミリーヨ、等を演じ、ヘンデル「メサイア」、「第九」、フォーレ「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、フオーレ「レクイエム」等、演奏会バスソロにて多数出演、小泉ひろし・小林研一郎・飯森範親等、各指

揮者のもとソリストを務める。また、合唱指導等にも意欲的に取り組み、合唱祭の講師等を務める。東京、神奈川を中心に、コーロ・しるふれい、金沢混声合唱団、In Pace、栄女声合唱団、ぶどうの会、鎌倉市民混声合唱団、北鎌倉女声合唱団、アンサンブル萌、コーロ・フォレスト、秦野混声合唱団等の常任指揮者を務める。明治大学グリーククラブ、小田原男声合唱団、横浜混声合唱団、中央区プリエール・ジュニア・コーラス等の歌唱指導に取り組む。杉友会優しい合唱講座講師。神奈川県合唱連盟理事。

# ＜ 2019年～2020年主な事業等 ＞

## 2019年

1. 8 (火)	歌い始め	旭丘高校音楽室
3.10 (日)	JAMCA日本男声合唱協会合同練習会	小田原市民会館大ホール
3.17 (日)	市民による「第九」演奏会(有志参加)	熊本県立劇場コンサートホール
3.24 (日)	JAMCA日本男声合唱協会強化練習会	小田原市民会館大ホール
4. 7 (日)	JAMCA日本男声合唱協会熊本演奏会	小田原市民会館大ホール
9. 29 (日)	石井 歡先生没後10周年記念コンサート	尊徳記念館
10. 6 (日)	第53回市民合唱祭	谷津公民館
10.26 (土)	日帰り合宿	小田原市民会館大ホール
10.27 (日)	日帰り合宿	小田原市民会館大ホール
11.29 (金)	定期演奏会ゲネプロ	旭丘高校音楽室
11.30 (土)	第48回 定期演奏会	
12.24 (火)	歌い納め	

## 2020年 事業計画

1. 14 (火)	歌い始め	旭丘高校音楽室
3. 8 (日)	市民によるフォーレ「レクイエム」演奏会(有志参加)	小田原市民会館大ホール
3. 20 (金)	第16回KAMCA横須賀演奏会	横須賀市民文化会館中ホール
5. 31 (日)	湘南合唱祭	伊勢原市民文化会館
10.18 (日)	第54回市民合唱祭	小田原市民会館大ホール
11.14 (土)	小田原市民会館さよならコンサート	小田原市民会館大ホール
(検討中)	第49回 定期演奏会	
12.22 (火)	歌い納め	旭丘高校音楽室

## 合唱団員募集

### ♪ 男声合唱の魅力に酔いましょう ♪

年齢・お住まいを問わず、歌うことが好きな方、未経験の方も、小田原男声合唱団の一員として、男声合唱の魅力に酔いましょう。

貴方が仲間と一緒に創る、重厚でしびれるような男声合唱のハーモニーは、必ずや貴方を虜(とりこ)にするでしょう。あなたの参加をお待ちしております。

練習日時：毎週火曜日 18:30～20:50 月1回日曜日 13:00～17:00

練習会場：旭丘高校音楽室(小田原駅より徒歩7分) 未経験の方のために練習用音源を用意します。

会費：月額4,500円(大学生は半額、高校生は免除)

連絡先：河田 一男 電話0557(47)3274 杉本 健二 電話0465(73)0037

ホームページ：<http://odadan.org/> (小田原男声で検索してください)

## ワンステージダンパー募集

### ♪ 2020年11月下旬～12月上旬予定の第49回定期演奏会で、一緒に歌いましょう ♪

年齢：高校生～80歳代と、年齢制限はありません。初めての方でも大丈夫です。

練習日：火曜日 18:30～20:50 6月より1～2回/月(計15回程度を予定)

練習会場：旭丘高校音楽室(小田原駅より徒歩7分) 未経験の方のために練習用音源を用意します。

曲目：伊藤整作詩 多田武彦作曲 男声合唱組曲「雪明りの路」

参加費用：検討中(月会費はなし) 楽譜代は実費です。

連絡先：河田 一男 電話0557(47)3274 杉本 健二 電話0465(73)0037

ホームページ：<http://odadan.org/> (小田原男声で検索してください)

# Members 2019

## 小田原男声合唱団

T1 加藤 重喜 (秦野市)  
 河田 一男 (伊東市)  
 斎藤 惠司 (伊勢原市)  
 露木 聰 (小田原市)  
 中島 弘光 (二宮町)  
 堀内 哲夫 (南足柄市)  
 松田 直隆 (山北町)  
 水城 高嶺 (秦野市)  
 渡辺 功 (茅ヶ崎市)

T2 青野 幸夫 (秦野市)  
 佐藤 精孝 (二宮町)  
 白石 久司 (開成町)  
 杉本 健二 (南足柄市)  
 高瀬 昇次 (小田原市)  
 田山 正弘 (伊東市)  
 福井 隆 (二宮町)  
 日置 達夫 (小田原市)

B1 網盛 一郎 (小田原市)  
 伊東 清邦 (秦野市)  
 岩越 万里 (小田原市)  
 江川 卓男 (鎌倉市)  
 大塚 常昭 (小田原市)  
 岡部 仁之助 (秦野市)  
 加藤 和信 (小田原市)  
 菊池 義彦 (小田原市)  
 三溝 良 (秦野市)  
 下村 興毅 (小田原市)  
 高橋 茂樹 (小田原市)  
 中村 敬 (南足柄市)  
 西山 隆行 (秦野市)  
 横山 茂 (千葉市)

B2 一色 磯田 (秦野市)  
 遠藤 幸男 (小田原市)  
 藤原 要 (小田原市)  
 古林 紘 (小田原市)  
 坂口 源次郎 (二宮町)  
 佐々木 宗夫 (小田原市)  
 鈴木 秀昭 (秦野市)  
 田島 壽久 (南足柄市)  
 千葉 達也 (南足柄市)  
 廣瀬 一郎 (海老名市)  
 柳田 友二 (秦野市)  
 圭一 (湯河原町)

## ワンステーションバー

T1 加藤 哲雄 (小田原市)  
 高桑 邦安 (横須賀市)  
 高山 光正 (大磯町)  
 西山 廣木代 (二宮町)  
 久富 有道 (横浜市)

T2 坂口 新治 (南足柄市)

B1 小西 正文 (茅ヶ崎市)  
 土居 依男 (海老名市)

B2 芥河 律 (厚木市)

名誉指揮者  
 外山 浩爾

常任指揮者  
 辻 秀幸

指揮者  
 村田 雅之

ピアノ  
 中根 希子

ヴォイス  
 トレーナー  
 杉山 範雄

### 運営スタッフ

団長 惠司 男二  
 副団長 河田 健一  
 事務局 杉本 隆  
 団内指揮者・技術部長 福井 隆

財政部長 廣瀬 友二  
 事業部長 松田 直隆  
 団員部長 高瀬 昇次

渉外部長 河田 一男  
 情報部長 遠藤 要  
 財政監査 佐々木 秀昭  
 JAMCA 渡辺 功  
 KAMCA 杉本 健一  
 河田 一男

T1 水城 高嶺  
 T2 福井 隆  
 B1 加藤 和信  
 B2 一色 義信

T1 露木 聡  
 T2 高瀬 昇次  
 B1 中村 敬  
 B2 鈴木 壽久

### 定演プロジェクト

松田 直隆  
 水城 高嶺  
 河田 一男  
 菊池 義彦  
 坂口 宗夫  
 千葉 陽一  
 廣瀬 友二  
 柳田 圭一

吉田 秀樹  
 上利 宏司  
 坂口 尚夫  
 柏木 晶子  
 小田原 木曜会  
 市レレブ ショニスト様

舞台 録音  
 録画 録譜  
 捲り 受付・案内